

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立福木小学校	校長氏名	重田 小百合	生徒指導主事氏名	松島 秀平
-----	-----------	------	--------	----------	-------

取組事例名 『自分たちの力によって進める活動』

取組のねらい『望ましい集団づくり』

○よりよい学校生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育て、予防的生徒指導の推進を図る。

取組の具体的内容『自主的な委員会活動の取組』

- 執行委員会の取組「学級・学年によるあいさつ運動」「あいさつ標語の募集」「いじめ防止標語の募集」「キッズワールド（異学年交流）」
- 運動委員会の取組「長縄大会」
- 生活委員会「あいさつマイスター」「犬のふん禁止ポスター」
- 放送委員会「無言清掃の呼びかけ」
- 飼育委員会「動物愛護標語」
- 図書委員会「読書感想文の紹介」

「あいさつ運動」



「長縄大会」



「キッズワールド」



取組の課題・創意工夫『自分たちの力で運営する力』

○児童の活動が主体的、自発的になるように、児童自らが工夫して、自分たちで運営していく活動内容を設定した。特に、「あいさつマイスター」「キッズワールド（異学年交流）」については、児童の主体的な考えや取組内容を重視した活動になった。また、「キッズワールド（異学年交流）」は、自分だけではなく、ペア学年にも楽しんでもらうように取り組んだり、自分たちのクラスの出し物が楽しめるようなものになるようによく考えたりしていた。「長縄大会」では、よりよい学級や人間関係を築こうとする仲間づくりが出来ていた。

取組の成果（効果）『自発的な活動による成就感』

○今年度は、前年度までと違って、児童自らが活動内容を考え、代表委員会に提案して、活動に取り組んだものもある。その中でも、特に、「あいさつ運動」や「あいさつマイスター」の取組については、自主的な活動を行うことによって、自分たちで成功させたという成就感を味わわせることができた。また、今年で5回目になる「長縄大会」では、毎日練習することにより、各学級で望ましい集団づくりができ、成績も大きく向上したことで達成感も得た。

今 後 の 展 開『集団としての連帯意識を高める』

「キッズワールド（異学年交流）」は、各クラスや学年の枠を超えた取組である。他の活動もよりよい学校にするための活動であり、学校全体で取り組んでいるという意識をもたせるとともに、連帯感を養っていく必要があると思われる。

他校へのアドバイス『本校の委員会の取組』

「長縄大会」「あいさつマイスター」の取組は、児童の自主的な取組として、どの学校でも取り組みやすい活動である。